

会 議 録

会議名	平成 27 年度 第 1 回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	平成 27 年 5 月 8 日（金） 14：00～15：40
開催場所	丸亀市役所 本館 2 階第 3 会議室
出席者	<p>(出席した委員)</p> <p>村山 卓 漆原 光徳 糸杉 宗州 日野 明世 田岡 洋司 横田 幸司 中田 陽子 善勝 光一 佐藤 国夫 三谷 雄治 明石 安哲 新川 裕司 西川 真智子 守家 敬子 高木 明美 奥田 徹 松井 信子 伊藤 智也 三井 喜代子</p> <p>(欠席した委員)</p> <p>高木 和代</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p>市長 梶 正治 市長公室長 山田 哲也 政策課長 大喜多 章親 政策課副課長 富士川 貴 政策課担当長 志村 芳隆 政策課主査 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 丸亀市未来を築く地域戦略会議について</p> <p>2. 丸亀市人口ビジョン及び未来を築く総合戦略の策定方針等について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	2 名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
大喜多政策課長	<p>ご案内の時刻がまいりましたので、ただ今より丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会いたします。本日はお忙しいところご出席いただき、ありがとうございます。申し遅れましたが、私、委員長が選任されるまでの間、進行役を務めさせていただきます政策課の大喜多と申します。どうぞよろしく願いいたします。それでは、まず、委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びいたしますので、順に市長より委嘱状をお受け取りくださいますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜市長より各委員に委嘱状の交付＞</p>
大喜多政策課長	<p>それでは、ここで梶市長より、皆さんにご挨拶を申し上げます。</p>
梶市長	<p>皆さんこんにちは。ただいま丸亀市未来を築く地域戦略会議委員の委嘱をさせていただきました。大変お忙しい中にもかかわらず、委員をお引き受けいただいたこと、また、このように会議に参加いただきましたことに、まずは、心からお礼を申し上げます。</p> <p>この会議の目的につきましては、1 つには、政府が進める地方創生という取組があります。人口減少という国全体が抱える問題の中で、各自治体においてもそれに対す</p>

	<p>る戦略として人口ビジョンや総合戦略を策定しなさいというものです。もう1つには、丸亀市のまちづくりの大きな方針を定める総合計画があります。10年間という長期の計画ですが、来年度には計画期間を終えますので、次の計画づくりを考えなければなりません。皆さんには、地方創生の動きや総合計画の内容を踏まえて、次期総合計画にも繋がるような人口ビジョンや総合戦略について議論をお願いすることになります。</p> <p>今回の会議では、様々な分野からご参加いただいた丸亀市に縁のある方々の幅広い意見、総合的な判断をいただけていると思っています。30年先、50年先を見据えて、丸亀市の持つべきもの、果たすべき役割、どうすれば市民が幸せに暮らせるのかといったことについて、ご意見をいただきたいと思います。この会議を通じて、これから先の市政で市民全体が一つの目標に向かって進めるような、そういったものが生まれることを期待しております。</p> <p>私自身は、今回の地方創生では、特段に目新しい、奇抜なアイデアが国からは求められる一方で、どうすれば市民が暮らしやすくなるかという視点から、これまで積み重ねられたまちづくりにも目を向けておかなければならないと考えております。</p> <p>それぞれの立場からご意見をいただくことはもちろん、私が丸亀市にとって大事と考えている人づくり、人の輝ける、能力を発揮できるしくみづくりについても焦点を当ていただき、活発に議論して欲しいと思います。</p> <p>そして、この先の丸亀市のまちづくりの道筋をつけるような、先見性を持った、思い切った発想を出していただくことをお願いして、ご挨拶といたします。</p>
大喜多政策課長	<p>ありがとうございました。次に、今回が初めての会議となりますので、各委員より一言ずつ自己紹介をいただきます。</p> <p><各委員自己紹介></p>
大喜多政策課長	<p>ありがとうございました。市長は、公務の都合上、ここで退席させていただきます。次に事務局の自己紹介をさせていただきます。</p> <p><事務局自己紹介></p>
大喜多政策課長	<p>続きまして、会長と副会長の選任に移ります。</p> <p><村山会長、守家副会長を選任></p>
大喜多政策課長	<p>それでは、ここからの議事につきましては、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定に基づき、村山会長をお願いいたします。</p>
村山会長	<p>それでは、以後、議事進行を勤めさせていただきます。議事に入ります前に、委員</p>

	<p>総数 20 名中 19 名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定により、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>それでは、議事の 1 「丸亀市未来を築く地域戦略会議について」事務局の説明を求めます。</p>
大喜多政策 課長	<資料に基づいて説明>
村山会長	会議の主旨と目指すミッション、国との関係等について説明いただきました。ご意見、ご質問等があればお願いします。
明石委員	丸亀市の基本データ、人口や面積から産業などの資料はありますか。
大喜多政策 課長	本日はご用意しておりません。現在、国の地域経済分析システムからビッグデータという膨大な資料が示されようとしており、必要な基本的データを、まとめてお渡ししたいと思います。その後、追加で欲しいデータがあればおっしゃってください。
明石委員	地域の姿が分かるようなデータを全委員にお願いします。
村山会長	次回会議までに、あらかじめ送っていただきたいと思います。人口動態や推計についても、委員間の共通認識を持っておきたいので、ぜひ提供してください。
	次に、議事の 2 「丸亀市人口ビジョン及び未来を築く総合戦略の策定本針等について」に移ります。事務局の説明をお願いします。
大喜多政策 課長	<資料に基づいて説明>
村山会長	説明は終わりました。ご意見等がありましたらお願いします。
	総合戦略は、国の法定計画ではありますが、地域の未来を築くという役割を持っています。人口の自然減によって単純に経済が縮小し、公共サービスなどにおいても負のスパイラルに陥ることが考えられます。それをどう食い止めるかということと、東京一極集中から、子育て環境などを考えて地方に戻る人の流れができそうな中で、どういった魅了を提示して、選んでもらうか。ここでは自然増対策と社会増対策の両面から考える必要があると思います。その他にも、交流人口を増やすことによって、地域経済を活性化するなど、様々な視点から対策を考えることができると思います。
	人口ビジョンも、そのために大切な資料となりますが、今のスケジュールでは、ビジョンに沿った戦略を立てつつ、戦略を踏まえたビジョンを作るといった同時並行の作業になっていくと思います。
三谷委員	戦略を練る上で、人口ビジョンの推計を前提としなければならないと思いますが、人口ビジョンはいつできる予定ですか。

大喜多政策課長	人口ビジョンについても、総合戦略と同じ10月を目途にしています。総合戦略と人口ビジョンは同時並行の作業になると思いますので、人口ビジョンの策定中に出てくる必要なデータは、その都度、この会議でもお示しします。
三谷委員	人口ビジョンの内容によって、この会議での議論の中身も変わってくると思います。タイトなスケジュールの中での確かな総合戦略を作るために、人口推計などは、できる限り早く示してください。
日野委員	外から丸亀に来られた方は、丸亀でずっと暮らしている人では気づかないことを感じていることがあると思います。丸亀に来た人や丸亀から出る人の意見を集めれば、計画づくりの参考になるのではないのでしょうか。
政策課富士川	転入者の方に対しては、3月からアンケート調査を始めたところですので、その集計結果を資料としてお渡しします。
村山会長	丸亀市では、移住者同士が意見交換などができるコミュニティのようなものはありますか。そのような場の方がアンケート調査よりも意見が出やすいと思います。
政策課富士川	丸亀市では、まだそのような取組をできていませんが、今年の7月に県移住交流協議会が宇多津町で中讃地域の移住者交流会を予定しています。そのような場での意見も参考にしていきたいと思います。
村山会長	10月頃の総合戦略策定に向けた、今後の詳しいスケジュールはどうなりますか。
大喜多政策課長	今回は、庁内の分科会などで出された個別の施策についてご意見をいただくことになると考えていまして、日程的には6月の下旬になると思います。
糸杉委員	数値目標については、創生本部と戦略会議のどちらで作ることになりますか。
大喜多政策課長	ある程度の案を創生本部で作って、戦略会議でご意見やご提案をいただき、さらに修正して、再度意見をいただくという形で作っていくことになると考えています。数値目標だけでなく施策や計画自体についても同じようにやり取りを繰り返しながら、作ることになると思います。
村山会長	<p>全国で一斉に同じ計画が作られる中で、丸亀市の計画が埋もれることなく、地域間競争に打ち勝っていけるような内容とするために、各分野からお集まりいただいた皆さんの意見を生かし、まとめていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>次に、議事の3「その他」ですが、事務局で何かありますか。</p>

山田市長公室長	<p>新しい施策を出すためには、市が今どのようなことを行っているかを知っていただくことが大切と考えています。そういった情報提供も十分に行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
村山会長	<p>委員の方で何かありますか。</p>
漆原委員	<p>18歳になって、進学や就職で丸亀を出て行く人が多くいると思います。香川県は四国全体でも地元に残る人が最も少なく、20パーセント程度なのですが、丸亀市の状況がどうなっているか。また、大学進学の場合、どれくらいの人が卒業後に戻って来ているか、その後Uターンでどれくらい戻っているかなどが分かれば、教えて欲しいと思います。</p>
高木委員	<p>昨年行った子ども・子育ての関係のアンケート調査など、他の部署にも参考になる資料があると思うので、そういったものも提供して欲しいと思います。</p>
守家副会長	<p>多くのデータを具体的にどう計画づくりに結び付けていくかということが難しいと感じました。この会議での人口減少という大きなテーマの計画づくりが、身近に困っていることの解決にも繋がれば、将来に向かってより良い丸亀をつくることになると思います。</p>
村山会長	<p>課題と思っていることが、見方を変えれば地域資源になるかもしれないという視点も大切と思います。</p>
明石委員	<p>スケジュールが密なので、考える時間が足りないということにならないよう、できる限り早めに資料を送ってください。</p> <p>また、どのようなデータが必要かということは、どのような施策を考えるのかということに繋がるので、あまりデータが広範になり過ぎないようにした方が良いと思います。例えば、ここで生まれ育った人が、外で学んで、帰って来て働くというストーリーができれば、今の東京一極集中は是正されるはずですが、そうはなっていない。それはなぜなのかが分かるような資料を用意して欲しいと思います。</p>
村山会長	<p>資料についても、追加など何度かやり取りが必要になると思いますので、できたものから順に送ってください。</p> <p>他にないようなので、次回会議は日程調整ができ次第、連絡することとして、以上で本日の会議を終了します。</p>